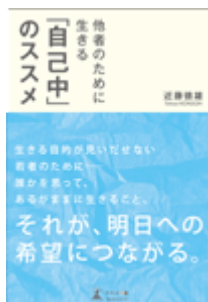


『他者のために生きる「自己中」のススメ』



単行本(ソフトカバー):208 頁

出版社:幻冬舎

ISBN-10:4344999975

ISBN-13:978-4-344-99997-8

発売日:2013年12月19日

¥1,260

[内容紹介]

自分のためだけではない「究極の自己中」。

私たちの生きる目的は、人の喜びを自分の喜びにするためです。

そもそも誰かに喜んでもらうためには、前提としてその人に尽くさなければなりません。つまり、自分の喜びを追求すればするほど、どんどん人のためになっていくということです。

感性的な自己中ではなく、知性的な自己中を目指す。これこそ人間の生きる目的であると考えられるかもしれません。

知性を磨き、生きる目的、働く目的が真に理解できれば、自分の内側に希望の光を見ることができるようです。(本文より)

[目次]

はじめに

「キューピー」

I. 対話から生まれる「前向きな心」のススメ

- ・希望は心の力。それは自分で見つけ出すものです
- ・結果を出すことではなく、プロセスにこそ意味があります
- ・時間を永遠へと高めていきましょう
- ・学生時代に学んでほしいこと、それは自分の良さに気づくことです
- ・他者の喜びを自分の喜びにするために、私たちは働くのです
- ・職業は共に生きるために存在するのです

- ・職業は社会と接する窓口にすぎません
- ・最低条件ではなく、最高条件を目指してください
- ・「きずな」と「ほだし」この両方を大切にしましょう
- ・道徳的に一人前になるとは、「すべき」を学ぶことです

Ⅱ. 他者の喜びへとつながる「行為」のススメ

- ・「行動」ではなく「行為」を目指してください
- ・何があっても守り抜ける真の友だちをつくってください
- ・自分に与えられている性格は変えていけるのです
- ・成長するためには知的な対話が必要です
- ・何か悩みがあつたとしても答えはあなたが持っているのです
- ・クリエイティブにイメージする力が、過去をエネルギーに変えてくれるのです
- ・社会で貢献できる自分になるために勉強するのです
- ・あなたが正しいと判断すれば勇気を出して行動してください

Ⅲ. 自分のためだけではない「究極の自己中」のススメ

- ・人間関係のストレスは、人間関係の中でしか解消できません
- ・一人の人間として理解し合う友情のための人間関係へと高めてほしいのです
- ・感性的に生きているだけでは、「本当のあなた」を生きることはできません
- ・もんもんと悩み苦しむことは成長の第一歩なのです
- ・知的に人を愛するためには「理性」も必要です
- ・究極の「自己中」を目指しましょう
- ・自分の家族だと繰り返し繰り返し意識し続けることが大切です
- ・ケンカをするからこそお互いわかり合えることもあります
- ・個人主義から世界市民へと意識を変えましょう
- ・バッドマークからの思考転換で希望を与えることができるはずです
- ・「あなたという名の私」を目指していきましょう

あとがき